

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

これは私たちが許された恍惚の世界

Le Poème de l'extase

読響首席客演指揮者・山田和樹が
《定期》初登場! スクリャービンの問題作
「法悦の詩」で到達するエクスタシー!

世界へ羽ばたく新時代の旗手

指揮 **山田 和樹**

Conductor= KAZUKI YAMADA

©読響

モナコでの「インパルス」世界初演で
絶賛された実力派ピアニスト

ピアノ **小菅 優**

Piano= YU KOSUGE

©Marco Borggreve

諸井三郎: 交響的断章

SABURO MOROI: Symphonic Fragments

藤倉大: ピアノ協奏曲第3番「インパルス」

(モンテカルロ・フィル、スイス・ロマン・管との共同委嘱/日本初演)

DAI FUJIKURA: Piano Concerto No. 3 "IMPULSE"

(YNSO co-commission, Japan premiere)

ワーグナー: 舞台神聖祭典劇「パルジファル」から
第1幕への前奏曲

WAGNER: "Parsifal" Prelude to Act 1

スクリャービン: 交響曲第4番「法悦の詩」作品54

SCRIABIN: Symphony No. 4 "Le Poème de l'extase" op. 54

読売日本交響楽団 第584回 定期演奏会

2019 **1/18** (金) 19:00 **サントリーホール**

S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C ¥4,000

Subscription Concert, No. 584 / Fri. 18th Jan. 2019 19:00 / Suntory Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時-18時・年中無休/年末年始を除く)

<https://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

協力: アフラック

山田和樹が首席客演指揮者に就任し、遂に読響の《定期演奏会》にデビューする。山田の読響初登場は、2011年8月の《三大交響曲》。只ならぬ雰囲気を持ちながら自然体で、オーケストラと共に呼吸するようなタクトで、聴衆と楽団員の心をガッチリと掴んだ。2度目の登場は、14年2月の《英雄プロ》。前半にベートーヴェン「英雄」、後半にR.シュトラウス「英雄の生涯」を組み合わせた大胆な構成で、今も語り草となるほどの名演奏が生まれた。その後、16年のチャイコフスキー「悲愴」、17年のドヴォルザークの歌劇「ルサルカ」などで、ファンタジーに溢れた幅広い表現力で聴衆を魅了してきた。

今回の《定期》デビューの曲目は、山田の現在の取り組みを象徴するようなプログラムだ。邦人作曲家の隠れた作品の掘り起こしと同時代作品への眼差し。そして、従来の西洋の音楽史の枠組みに捕らわれない独自の視点で作品を並べ、圧倒的な演奏をすること。

諸井三郎「交響的断章」は1928年、諸井が20代半ばで書いた作品。戦後も演奏される機会がなく、諸井の死の翌年78年の記念演奏会でようやく蘇演された曲で、その後も演奏機会には恵まれなかった。この蘇演の録音を収めたCDが09年になってリリースされ、山田はこの曲と出会った。そして今回、ご遺族のご協力も得て40年ぶりの演奏が実現する。若き諸井のエネルギーを感じると同時に、後半の曲目のワーグナーやスクリャーピンに通ずる神秘性を聴き取れるだろう。2曲目の藤倉大のピアノ協奏曲第3番「インパルス」は、10月に山田の指揮、小菅のピアノでモンテカルロ・フィルによって世界初演された新作。ピアノとオーケストラが信号を送り合い、音楽は衝動的(インパルス)に動き出す。世界を飛び回る新世代の三人、藤倉×山田×小菅による新たな創作の衝撃を受け止めていただきたい。

後半のワーグナー「パルジファル」第1幕への前奏曲とスクリャーピン「法悦の詩」の組み合わせにも期待が高まる。山田の指揮の特徴は、気品を持ちながら、独特の色気や狂気を感じさせることだ。作品の闇に光を当てて、スコアの奥底から狂気をあぶり出す。そして、聴衆に驚きを与え、終には未だ見ぬ世界へと誘ってしまう。それは恍惚やエクスタシーという表現も当てはまる“向こう側の世界”なのだ。今回演奏する「パルジファル」と「法悦の詩」は、まさにその音楽。山田の魔術のようなタクトは、聴衆を想像できない異次元へと誘い出すだろう。



小菅 優 (ピアノ)
YU KOSUGE, Piano

高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性と深い楽曲理解で注目を浴びている若手ピアニスト。2005年カーネギーホール、06年ザルツブルク音楽祭でリサイタルデビューし、10年には同音楽祭でボゴレリッチの代役を務めた。G.アルブレヒト、小澤征爾、ドミトリエフらの指揮で、ベルリン響、北ドイツ放送響などと共演。14年芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。現在は様々なベートーヴェンのピアノ付き作品を演奏する「ベートーヴェン語」に取り組むほか、17年秋から「水・火・風・大地」をテーマにした新リサイタル・シリーズを開催している。

山田和樹が読響《定期》デビュー！

未だ見ぬ、向こう側の世界へ。

©読響

山田 和樹 (読響・首席客演指揮者)
KAZUKI YAMADA,
Principal Guest Conductor

国際的に活躍する日本が誇る次世代の旗手。2018年4月より読響首席客演指揮者。プザンソン国際指揮者コンクール優勝。ベルリン放送響、サンクトペテルブルク・フィル、パリ管、フランクフルト放送響、フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル、BBC響、チェコ・フィルなどへ客演。17年にはベルリン・コーミッシェ・オーパーにデビューを果たし、好評を博した。スイス・ロマンダ管首席客演指揮者を終り、現在はバーミンガム市響の首席客演指揮者、モンテカルロ・フィルの芸術監督兼音楽監督、東京混声合唱団音楽監督などの任にある。ベルリン在住。



藤倉 大 (作曲)
DAI FUJIKURA, Composer

世界各地の音楽祭をはじめ、シカゴ響、バンベルク響、シャンゼリゼ劇場、バーゼル劇場などから委嘱が相次ぐなど、国際的に活躍する気鋭の作曲家。17年には「ヴェネツィア・ビエンナーレ」音楽部門銀獅子賞を受賞。

読売日本交響楽団 第584回 定期演奏会

2019年 1月18日(金) 19時開演

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休/年末年始を除く

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分